

豊橋市民病院の ロゴマークができました

豊橋市民病院は昭和21年の改称より今年7月で80周年を迎えます。

これを機に、日々患者様をお迎えしてきた彫刻を、下記のとおり当院のロゴマークとして作成いたしました。

主な利用用途として、市民病院刊行物や名札への掲載など幅広く周知できるものに使用していきます。



完成したロゴマーク



由来となった彫刻「還流」

※豊橋市民病院パンフレット表紙より

ポイント 1

マークの由来

ロゴマークの元となったデザインは、平成8年5月に豊橋市民病院が青竹町に移転した当時から、病院入り口の銘板とともに患者様を迎えてきた彫刻であり、当院のシンボリック存在であるため採用しました。

■作品名：「還流」

■彫刻家：佐光庸行(岐阜県美濃加茂市出身)

※1995年に永眠されたためご家族の了承をいただいております。

ポイント 2

当院の想い

「還流」と名付けられ、メビウスの輪を連想させるこの作品には、「終わりのない生命の還流」とつづられています。豊橋市民病院では、このロゴマークに「絶えず成長を続け」、「当院を選んでくれた患者様を治療して必ず地域にかえす」という想いを込めています。